

就職前線

第 3 章

高校生の本音

本市において、進学せずに就職を希望する高校生は約4割。現在、就職活動真っ只中にある高校生は約7割。今年10月に実施した「雇用に関するアンケート」と、就職内定を決めた高校生4人のインタビューから、これからの平戸市を担う若者の本音に迫ります。

県外就職希望者は約7割。

「一度は県外に出てみたい」、「仕事がない」を理由に
県外へ流出する若者がほとんど。

来春の就職を希望している高校3年生に今年10月、「雇用に関するアンケート」を実施したところ、県外就職希望者は約7割、県内就職希望者は約2割、市内の就職希望者は約1割と、平戸市にとって非常に厳しい結果となりました。

本市の人口構造の推移をみると、総人口の減少はもとより、少子化の進行、若者の流出、青壮年層の減少、高齢化の進行、後期高齢者(75歳以上の人)の増加などが顕著に表れています。特に、大学進学などの世代である20歳〜24歳の若者の流出が著しく、少子化、青壮年層の減少に連動しているものと考えられます。近年の進学意識の高さから、市内

の高校生は、大学や専門学校などへの進学で平戸市を離れます。また、就職を希望する高校生も大半が県外就職希望とあって、平戸市の未来を担う若者は、ほとんどが市外へ流出してしまうのが現実です。アンケートの中でも「高校生以上の若者がいないので、若者が住めるようなまちにしてほしい」「若者が働けるような職場があれば、若者が地元に残ると思う」というような意見が多く聞かれました。

◎雇用に関するアンケート調査結果◎

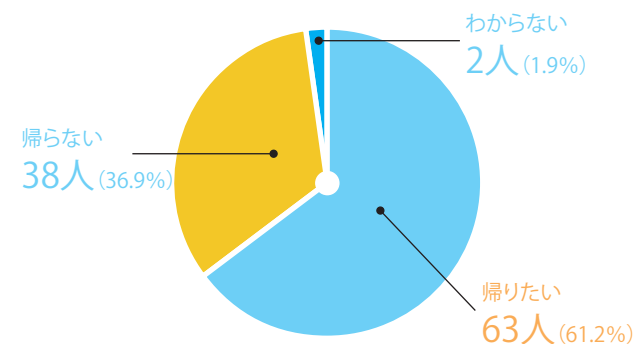
- 有効回答数 142人
- 実施期間 平成20年10月
- 対象者 平戸市在住者、または出身者で就職を希望する高校生(北松農業高校37人・平戸高校62人・鹿町工業高校43人)

雇用など含めた平戸市への要望

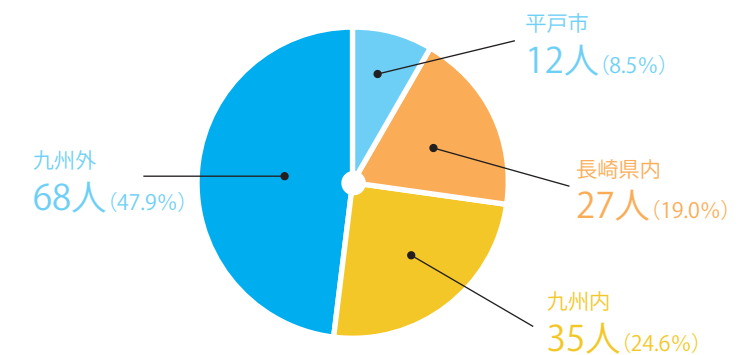
- ・働ける場所を増やしてほしい。
- ・若者が楽しめるような場所をつくってほしい。
- ・大きな企業を呼び込めないか。
- ・もっとたくさん働ける場所があったらいい。
- ・帰ってきたときに、就職につきやすくしてほしい。
- ・仕事がないから、平戸を出て行かなければならない。雇用を増やせば残る人は増えるはず。
- ・地元で働きたいが、働くところがない。給料も安い。求人を出してほしい。

将来、平戸市へ帰ってきたいと思いませんか？

(県外へ就職を希望する人のみ回答)



希望就職先(内定先)はどこですか？



Sachie Matsumoto

最初から地元就職に決めていて、接客業に就きたかったので、携帯電話の販売業務の佐世保電子サービスに就職することに決めました。社会人として、これから何もかも自分の責任、注意してくれる先生もいません。社会に出て働くことの厳しさも自覚して頑張りたいと思います。平戸には、若者がいないのでもっと仕事が増えればいいなと思います。

INTERVIEW



「地元に残って、接客業に就きたい」と思い、希望する企業を見つけました。

(有)佐世保電子サービス内定
平戸高校総合学科地域振興系列3年
松本幸恵さん
(中野大久保町)

県内就職



「お世話になった人に恩返しをしたい」と思い、地元の農協を選びました。

ながさき西海農協内定
北松農業高校生活科学科3年
田中祥平さん
(生月町吉部浦)

Syohji Tanaka

私は、授業を通じて農家のみなさんと触れ合ったこともあり、農業に対する思いが強く、ながさき西海農協に就職することに決めました。平戸市は農業や漁業が盛んなので、その職業に就けることをとても嬉しく思っています。これから社会人として、これまでお世話になったみなさんに少しでも恩返しができるように精一杯頑張ります。

INTERVIEW



「地元には自分に合った仕事がありませんでした」

トヨタ自動車株式会社入社予定
平戸高校総合学科情報ビジネス系列3年
宮田涼介さん
(志々伎町)

県外就職



「一度親元を離れて自立した生活をした」と思い、福岡県へ就職することにしました。

株式会社マルキョウ内定
北松農業高校食品科学科3年
久家明子さん
(生月町館浦)

Akiko Kuga

私は、一度親元を離れ自立した生活をした」と思い、自分の希望する職業を探した結果、福岡県に就職することに決めました。地元と違う一面を見てみたいという思いもあり、今は県外で働くことに期待で胸が膨らんでいます。ふるさとを離れることになりましたが、生月が大好きなので、いつかは帰ってきたいと思っています。

INTERVIEW